

TOYOTA MARINE Ocean Style

Aug 2023 Vol.15

Proposed
the Play of Ocean



名古屋都心を眼下に。
SAKAE VIEW & NAGOYA VIEW

SAKAE
テレビ塔方面の眺望

NAGOYA
名駅方面の眺望

Pタイプ20階相当からの眺望(2023年4月撮影)

最終1邸

S_{type} MENU 1 21F 北東角住戸

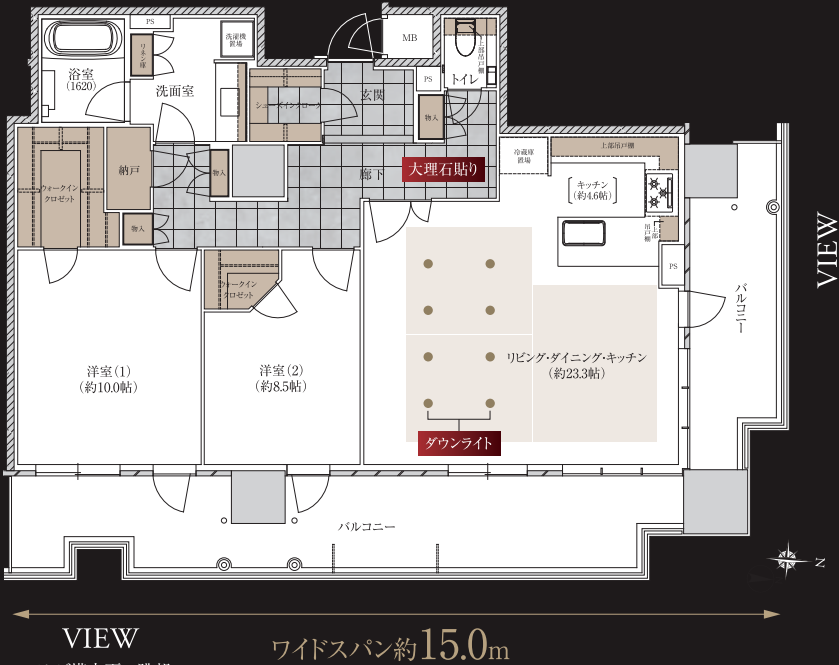
2LDK+2WIC+SIC+N

■住居専有面積 104.69㎡ (約31.66坪)
■バルコニー面積 / 37.77㎡ (約11.41坪)

21階 販売価格(税込) 17,400万円

■収納 ■床暖房 ●ダウンライト

WIC:ウォークインクローゼット SIC:シューズインクローック N:納戸



上層階プレミアムプラン。
この感動を日常に。

最終2邸

P_{type} MENU 1 21F・23F 南西角住戸

2LDK+2WIC+SIC

■住居専有面積 109.33㎡ (約33.07坪)
■バルコニー面積 / 41.96㎡ (約12.69坪)

21階 販売価格(税込) 18,600万円

23階 販売価格(税込) 19,600万円



ザ・ファインタワー久屋大通

※眺望は各階・各住戸により異なり、将来変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。※徒歩分数は80mを1分(端数切り上げ)として計算した概算時間です。※表示内容は2021年7月時点のものです(距離・徒歩分數表示は2022年8月改訂)。※図面は計画段階のもので、変更になる場合がございます。詳細は係員にご確認ください。

■全体物件概要●物件名称／ザ・ファインタワー久屋大通●所在地／愛知県名古屋市中区丸の内3丁目2109番1(地番)●地域・地区／商業地域、駐車場整備地区、都市機能誘導区域内、居住誘導区域内、緑化地域、下水道処理区域内、特定用途誘導地区●地目／宅地●交通／名古屋市内地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」駅1番出入口徒歩2分、名古屋市内地下鉄東山線・名城線「栄」駅徒歩7分●総戸数／155戸※2022年10月までにコネクTプランによる変更(住戸連結)があったため、総戸数が155戸へ変更となりました。●構造・規模／鉄筋コンクリート造、地上25階建●建ぺい率／67.26%●容積率／776.11%●私道負担／なし●敷地面積／1,557.03㎡●建築面積／1,047.23㎡●建築延床面積／16,986.80㎡●間取り／1LDK～3LDK●住居専有面積／35.25㎡～154.28㎡(備蓄倉庫面積を含む)●バルコニー面積／9.15㎡～53.86㎡●アルコーブ面積／1.38㎡～6.41㎡●駐車場／76台(月額使用料:19,000円～48,000円)●自転車置場／163台(月額使用料:200円～500円)●バイク置場／4台(月額使用料:4,000円)●インターネット利用料(月額):935円●建築確認番号／第ERI-20019058号(令和2年8月14日付)・第ERI-21024889号(令和4年10月20日付)●分譲後の権利形態／建物専有部区分所有、敷地及び共用部:専有面積持分割合による所有権の共有●竣工予定／2023年12月●引渡し可能年月／2024年4月●事業主(売主)／京阪電鉄不動産株式会社 国土交通大臣(5)第6056号・(一社)大阪府宅地建物取引業協会会員・(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟・(一社)不動産流通経営協会加盟・(一社)不動産協会会員 〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31(OMMビル15階) TEL06-6946-1341 名鉄都市開発株式会社 国土交通大臣(16)第337号・(一社)不動産協会会員・(一社)中部不動産協会会員・東海不動産公正取引協議会加盟 〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目8番地18号 TEL 052-581-1221 セキスイハイム東海株式会社 名古屋支社 国土交通大臣(2)第9253号(公社)愛知県宅地建物取引業協会会員 東海不動産公正取引協議会加盟 〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目4-16 KDX名古屋日銀前ビル1F TEL052-220-3268●販売提携(代理)／セキスイハイム東海株式会社●設計・監理／浅井謙建築研究所株式会社、佐藤工業株式会社一級建築士事務所●施工／佐藤工業株式会社名古屋支店●管理会社／京阪カインド株式会社●竣工後の管理形態／区分所有者全員により管理組合を結成し、管理組合より管理会社に業務を委託(通勤方式)※記載の内容は、今後の協議・行政指導等により変更となる可能性があります。■先着販売概要●販売戸数／4戸●住居専有面積／104.69㎡～109.33㎡●バルコニー面積／37.72㎡～41.96㎡●間取り／2LDK●販売価格／15,500万円～19,600万円●管理費(月額)／27,010円～28,210円●修繕積立金(月額)／8,380円～8,750円●修繕積立一時金(引渡時一括)／1,151,600円～1,202,600円●管理準備金(引渡時一括)／34,500円～36,000円※先着順のためご希望の住戸が販売済みの際はご了承ください。※お申し込みの際には印鑑(認印可)とご本人確認書類(免許証等)と直近2年分の収入証明書をご持参ください。●広告制作年月日／2023年7月7日●広告有効期限／2023年9月末日

上層階(20階以上) プレミアムプラン 特別商談会開催

ご予約受付中

地下鉄名城線・桜通線

「久屋大通」駅 徒歩2分 (約110m)

地下鉄名城線・東山線

「栄」駅 徒歩7分 (約510m)

ご予約はこちら

WEBにて

ファインタワー久屋

検索

QRコードから直接アクセスできます。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



お電話にて

「ザ・ファインタワー」マンションギャラリー

0120-138-775

営業時間/午前10時～午後5時30分(水・木曜日定休)※携帯電話からもご利用いただけます。

KEIHAN 京阪電鉄不動産

名鉄都市開発

セキスイハイム東海

TOYOTA MARINE Ocean Style

Proposed the Play of Ocean



Proposed the Play of Ocean

TOYOTA MARINE Ocean Style

— Aug 2023 Vol.15 —

	第62回 ジャパンインターナショナルボートショー2023 開催 2023/3/23-26 in PACIFICO Yokohama & Yokohama Bay Side Marina	▶ 08
	Mobility Information 全ての移動を特別な時間にする次世代の「モビリティ」 ジャパンインターナショナルボートショーで注目を集めた 「歩く」に寄り添うモビリティ 3輪BEV「C+walk(シーウォーク)」	▶ 12
	トヨタ自動車 陸上長距離オリンピック 服部勇馬選手が参戦 ▶ PONAM-35swで真鯛釣りにチャレンジ	▶ 14
	瀬戸内に佇む隠れ家 郷愁を誘う宿を訪ねる ～ 広島湾江田島 グルメクルージング～	▶ 18
	湖上から美しい景観を眺める 日本最大の汽水湖「浜名湖」サイトクルージング	▶ 26
	トヨタが誇る操船支援システム 「TVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)」 TVASがサポートする意外な海の楽しみ方	▶ 32
	「海のモビリティ」がトヨタタイムズに掲載 クルマ屋だからつくれるボートとは	▶ 34
	モビリティを通して街とマリンが身近に感じられる プライマルシェ at 芦屋マリーナ Prime marché at Ashiya Marina	▶ 36
	トヨタマリン販売店のサービス体制をご紹介 充実した設備と一貫した「内製」サポートが強み NTPマリンサービスセンター	▶ 38
	MARINA DIVIDE VOL.16 ASHIYA MARINA マリーナ探訪 芦屋マリーナ	▶ 40
	PONAM LINE UP ポーナムラインナップインフォメーション	▶ 42

SeaDek® MARINE PRODUCTS



REGAR

株式会社リガーマリンエンジニアリングは、
SeaDekの認定加工業者(Certified Fabricator)のライセンスを取得し、
国内での製造加工をしています。



PONAM35



PONAM31



PONAM35, PONAM31, PONAM28V お好みのデザインでご注文承れます



SeaDek®はHyperForm社の商標登録です。

株式会社リガーマリンエンジニアリング

三重県いなべ市大安町南金井1732番地
TEL:0594-87-0200 FAX:0594-87-0300

リガーマリン シーデック

HP



Instagram



LINE@



第62回 ジャパンインターナショナルボートショー2023 開催

2023/3/23-26 in PACIFICO Yokohama & Yokohama Bay Side Marina

3月23日(木)～26日(日)の4日間にわたり、パシフィコ横浜と横浜ベイサイドマリーナの2会場を主としたジャパンインターナショナルボートショー2023が開催された。日本国内では最大級となるボートショーで、今年は「あふれる笑顔 この海でずっと・・・」をテーマに開催され、2会場合わせて約230社が出展。前年を上回る来場者が会場を訪れるなど、非常に活気溢れるイベントとなった。



パシフィコ横浜に出展したトヨタブース。車からボートへアクセスするまでの自然な動線が演出されており、来場者がモビリティと共に過ごす休日イメージをさせる。ブース上部には遠くからでも視認可能なグラフィックパネルも設置されていた。

モビリティカンパニーを目指す トヨタのブース

「Wonderful Mobility Life」。このコンセプトを元にトヨタでは今回のボートショーにおいて、パシフィコ横浜にブースを出展。ボートだけでなく、モデリスタ仕様にカスタマイズされた「クラウン クロスオーバー」や「歩く」をアシストするモビリティ「C+walk (シーウォーク)」といった陸上の乗り物も出展された。出展艇となった「PONAM-31 Z Grade」は「Workcation Utility & Luxury Party Style」を開発コンセプトに、内外装のデザインをモデリスタとコラボレーションしたボートで、ブース内では内覧待ちの来場者が行列をつくっていた。また、モデリスタのデザインフィロソフィーが存分に表現された「クラウン クロスオーバー」も多くの人が見惚れるような美しいスタイルで、ブース内でも大きな注目を集めていた。他にも、多くの来場者が「C+walk」の仕様や使用可能なシーンについて強い関心を示すなど、モビリティカンパニーを目指すトヨタの想いがブースの至るところで表現されていた。



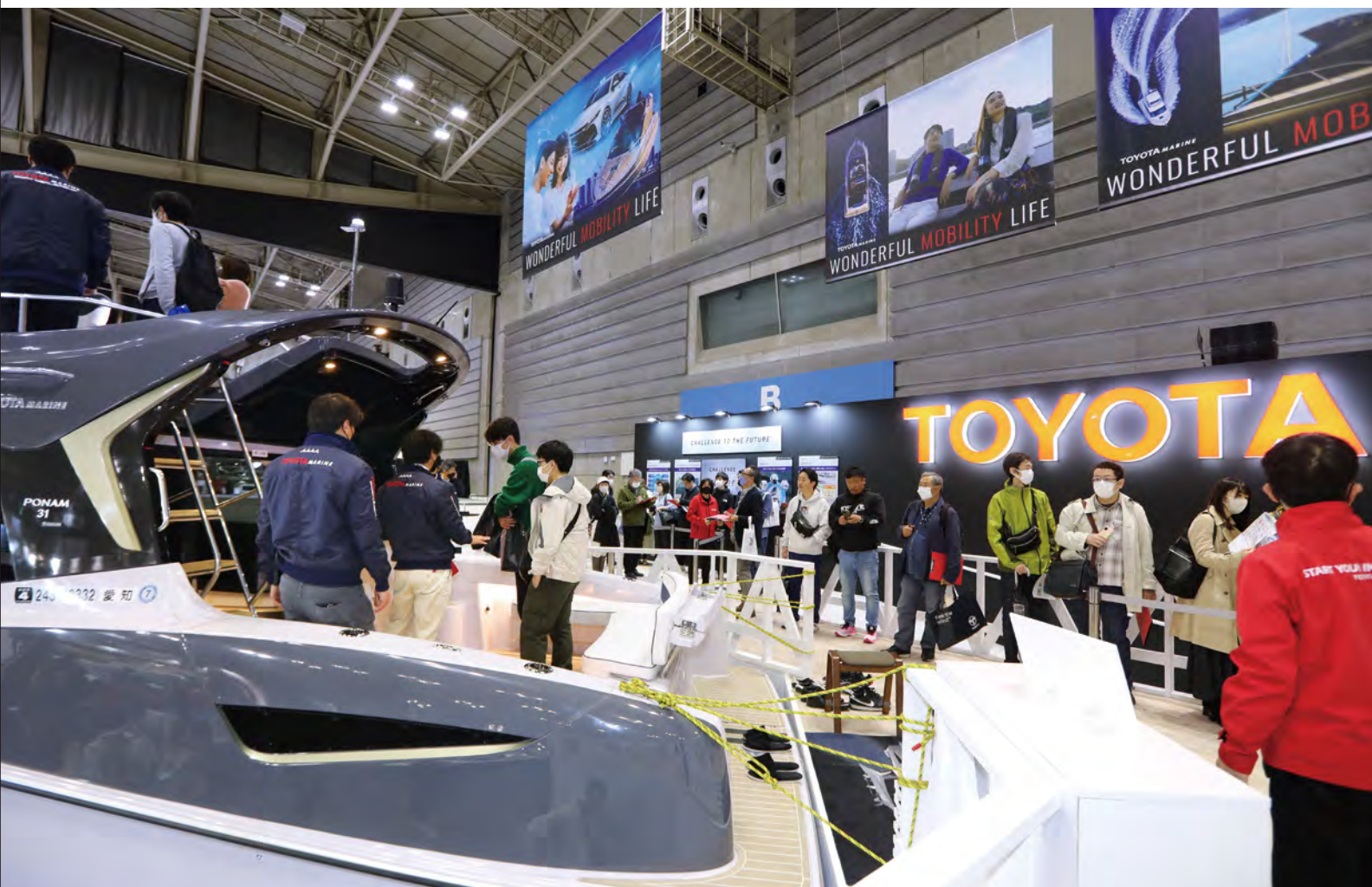
パシフィコ横浜会場ではマリン関連の製品や情報に関するブースが多数出展された。



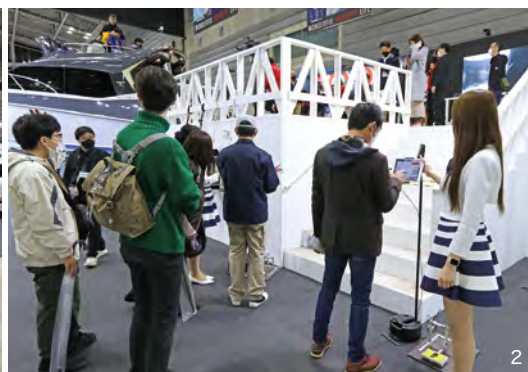
横浜ベイサイドマリーナ会場では大型ボートからヨットまで56隻が係留展示された。



1. ボートは「PONAM-31 Z Grade」を展示。機能や居住性能について、興味深く質問をしている方が非常に多かった。2. 人通りの多い通路に面したトヨタブースではモデリスタ仕様の「クラウン クロスオーバー」も存在感を発揮しており、一際大きな注目を集めていた。3. ブースには歩くように動ける3輪BEV「C+walk」も展示。シンプルな操作性や優れた安全性について来場者から高く評価されていた。



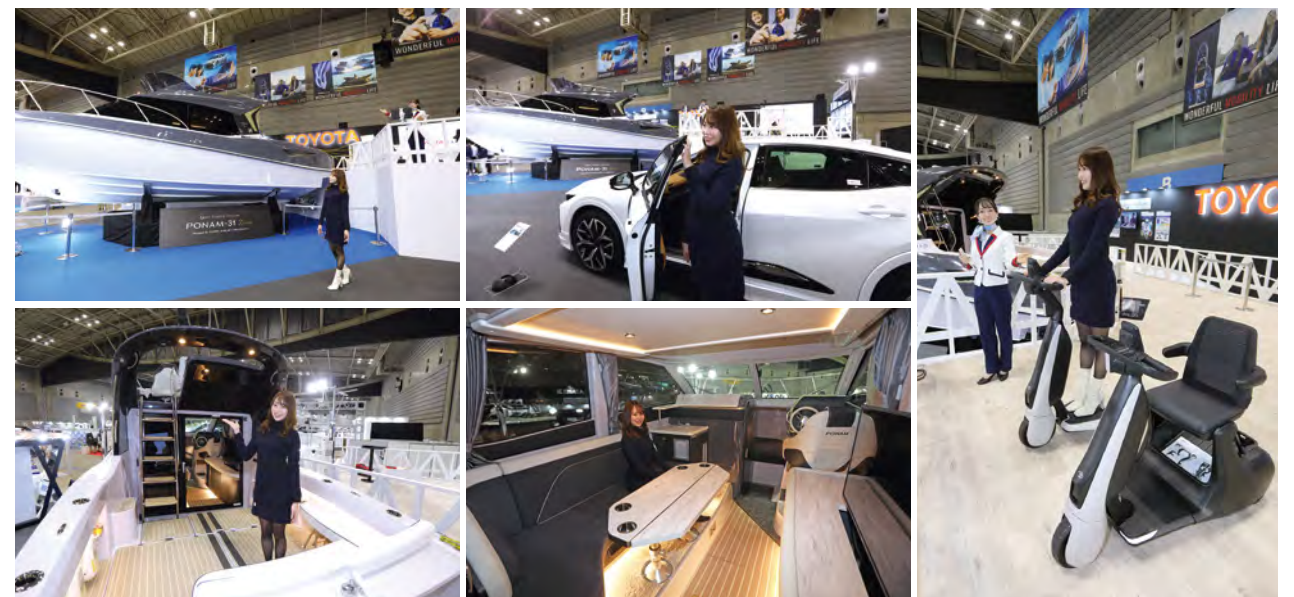
「PONAM-31 Z Grade」の展示は大盛況を博し、専用の列ができるほど。マリンレジャーファンのポーナムシリーズに対する関心の強さを窺い知ることができた。



「Mobility for All」を表現する演出

今年のトヨタブースは「栈橋」をテーマに設計され、車からポートへとアクセスしていく動線を体験しながら、来場者がモビリティと共にある休日をイメージできるようなレイアウトとなっていた。ブースを訪れた当初は「クラウン

クロスオーバー」や「C+walk」といった陸上の乗り物がポートショーで展示されていることに疑問を抱く人もいたかもしれない。しかし、今回トヨタが来場者に伝えていたのは、トヨタが目指す「モビリティカンパニー」としての姿であり、その想いは疑問の氷解と共に、来場者の心に深く浸透したことだろう。



ブースでは定期的にMobility for ALLを表現するステージ演出も実施され、ブース全体を舞台とし、モニターに映し出された映像と合わせてトヨタが提供するモビリティの魅力について紹介していた。

1. トヨタブースは様々な年代のマリンファンで連日大きな賑わいを見せていた。2. 栈橋をイメージして構成されたブースの入口ではアンケートを実施。3. 「Z Grade」にオプション設定されたエアフェンダー。高耐久ながら非常に軽いのが魅力で専用カバーも取り付け可能。軽さとデザイン性を評価する声が多く聞こえてきた。4. ブース内には走行性能、居住性能、操船支援システムなどを紹介する展示も行われ、ポーナムシリーズの魅力が存分にアピールされていた。5. ブース内のパネル展示も非常に充実しており、未来へ向けたトヨタマリンの取り組みが分かりやすく紹介されていた。6. 愛知県蒲郡市のラグナマリーナも来場者に向けてマリーナの魅力をアピールしていた。



ポートショーに参加したスタッフで集まり記念撮影。こうして生まれた結束力が販売店との連携の原動力にもなっている。

ジャパンインターナショナルポートショーで注目を集めた 「歩く」に寄り添うモビリティ 3輪BEV「C+walk(シーウォーク)」



モビリティ・カンパニーへの変革を進めるトヨタでは、クルマだけに留まらず自動運転シャトル「e-Palette(イーパレット)」や3輪BEV「C+walk(シーウォーク)」といった新たな分野のモビリティ開発にも積極的に取り組んでいる。今回ご紹介する「C+walk」は利用者の行動範囲を広げる歩行領域での新たなモビリティシリーズとして開発され、第1弾として立ち乗りタイプの「C+walk T」を、第2弾として座り乗りタイプの「C+walk S」を発売。「C+walk S」に加え、「C+walk T」も2023年5月発売モデルから歩道走行が可能となり、免許不要、ヘルメットの装着義務もないなど、歩行者と同様となっているのも扱いやすい点である。「C+walk」は全国のとヨタ車両販売店で取り扱っており、現在は大規模公園やレジャー施設にも順次導入されている。



立って利用する「C+walk T」はサイズ感も人間ひとりのスペースに限りなく近いサイズ。操作性もシンプルでアクセル操作を行うことで加減速をコントロールできる。旋回時には操舵角を検知して自動で速度を抑制する。両モデルともに、より安全性能を向上させた「Safety support」も用意されている。速度は2～6km/hの5段階に切り替え可能となっている。



「C+walk S」は座って利用するモデルで、こちらも歩道(公道)でも利用可能。長時間・長距離の歩行が難しい時、歩いて行くには億劫なちょっと離れた場所へ行きたい時に助けてくれるモビリティだ。座って利用する乗り物ながら取り回しも良く、JIS規格の旋回安定性・段差乗り越性・回転性能の3つ全てで最高評価を獲得。速度は1～6km/hの6段階に切り替え可能となっている。

■価格はメーカー希望小売価格(消費税込み) '23年8月現在のもの>で参考価格です。価格は販売店が独自に定めていますので、詳しくは各販売店におたずねください。
■価格にはオプション価格、取付費は含まれていません。■保険料、税金(除消費税)、登録料、リサイクル料金などの諸費用は別途申し受けます。
■安全運転を支援する装置は、あくまで運転を支援する機能です。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。



1. 人間工学に基づいたハンドル周りは扱いやすく、誰もが直感的に操作できるよう配慮されている。また、アクセルとブレーキは左右両方に配置され、利き手を問わず扱いやすい。
2. メーターパネルにはバッテリー残量、速度メーターなど様々な運転情報が表示される。
3. 専用キーをかざすことで、起動できる。
4. 「Safety support」モデルには「障害物検知機能」や「急斜面検知機能」など、より安全に乗車できる機能が搭載されている。
5. 「C+walk T」のステップは人間の腰幅程度で、周辺への圧迫感も少ない。
6. 「C+walk S」のシート下にある大容量ラゲージは一般的なスーパーの買い物カゴ(33L・20kg)ならそのまま積載可能。
7. バッテリーは軽量で取り外しもワンタッチで行える。専用充電器(100V)を使用し、屋内のコンセントを使用すれば約2.5時間で手軽に充電できる。

C+walk T(立ち乗りタイプ) …… メーカー希望小売価格: 363,000円・「Safety support」376,200円
C+walk S(座り乗りタイプ) …… メーカー希望小売価格: 498,000円・「Safety support」505,000円

取材協力

ラグナマリーナ

〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町2丁目1番地
TEL: 0533-58-2950

撮影場所となった愛知県蒲郡市のラグナマリーナ。100ftまで係留可能な令和桟橋をはじめ、35t大型クレーンを完備するなど、中部エリアでも屈指の規模を誇る。



新型アルファード／ヴェルファイア デビュー



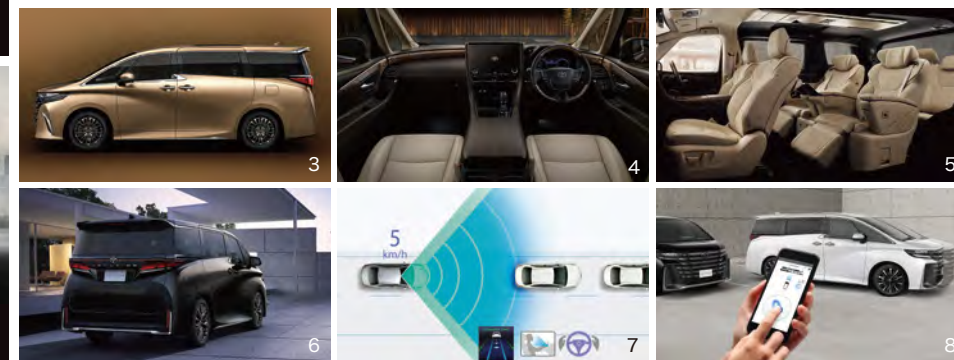
アルファード: Executive Lounge(ハイブリッド・E-Four)。オプション装着車



ヴェルファイア: Z Premier(ターボガソリン・2WD)。オプション装着車

マリーナを目指してハンドルを握った瞬間から 別格の心地よさとともに、非日常の時間が始まる

2023年6月、トヨタの最上級ミニバン「アルファード」と「ヴェルファイア」に待望の新型モデルが誕生した。2002年のデビュー以降、これまで3世代に渡り、フルモデルチェンジやマイナーチェンジを重ねてきた同モデルはユーザーからも高い支持を集めている。一歩先をいく洗練されたデザインと考え抜かれたおもてなし装備は、マリーナに向かう1日のはじまりから、非日常のひとつときを感じさせてくれる。

仕様・価格の詳細は
ホームページをご覧ください

1. エレガントでありながら、迫力あるスタイルのフロントフェイス。
2. 力強いスタイルで、圧倒的な存在感を放つフロントフェイス。
3. 静謐と躍動。2つのエッセンスを研ぎ澄ませた上質な佇まい。
4. 快適なコックピットは運転する喜びを満たし、マリーナに向かう期待感を高める。
5. 心地よさが追求された車内は大切なゲストとの歓談場所となる。
6. 革新とエレガンスが宿る、先鋭的なスタイルを実現。
7. トヨタチームメイト(アドバンストドライブ)では渋滞時支援で高速道路・自動車専用道路走行時の運転負担を軽減してくれる。[アルファード: Executive Loungeに標準装備、Zにメーカーオプション。ヴェルファイア: 標準装備]
8. トヨタチームメイト(アドバンストパーク)では車外から専用スマートフォンアプリを操作することで、遠隔での駐車・出庫が可能となるリモート機能を搭載している。[アルファード: Executive Loungeに標準装備、Zのハイブリッド車にメーカーオプション。ヴェルファイア: 標準装備]

トヨタ自動車 陸上長距離 オリンピアン 服部勇馬選手が参戦

▶ PONAM-35swで真鯛釣りにチャレンジ

三重県の神島沖は年間を通じて豊富な魚影に恵まれ、真鯛や青物など、様々な魚が釣れるボートアングラーからも絶大な人気を誇るフィールドだ。今回は東京オリンピックに出場実績のある陸上長距離部の服部勇馬選手を船内に迎え、真鯛を狙ってPONAM-35swで釣りに出た。



服部勇馬選手は東京オリンピックのマラソン競技にも出場したオリンピック。実業団対抗駅伝ではトヨタ自動車の陸上長距離部を牽引する活躍をみせている。

トヨタ自動車 陸上長距離部
服部勇馬選手の
プロフィールを見る



初挑戦のタイラバながら、終始楽しそうに挑む姿を見ることができた。釣行を通して船酔いすることもなく、釣りの魅力を存分に感じてくれたようだ。



▶▶▶トヨタマリンと運動部とのコラボ企画スタート! 今後は様々なアスリートがマリンレジャーを体験予定!!

PONAM-35swに乗船し ポイントまでの移動も楽しむ

PONAM-35swに乗船した服部選手にお話を伺うと、このサイズのクルーザーに乗るのは初めてとのこと、出航前にはアフトデッキ

からフライブリッジを見上げながら「すごく楽しみです。」と爽やかな笑顔でこれから海に出ることへの期待感を語ってくれた。また、PONAM-35swに搭載されたTVASをはじめとする様々な機能や装備の説明にも興味深げに耳を傾けていた。ポイントのある三重県の神島沖には出航場所となったラグナマリーナから約1時間。その間、服部選手は船酔いすることもなく、リラックスした様子で練習中のエピソードを話すなど、海のモビリティでの移動を満喫している様子だった。



1. ポイントへの移動時にはマリンスタッフに積極的に質問をするなど、PONAM-35swの走行性能についても、高い関心を示していた。2. 見晴らしの良いフライブリッジでリラックスする服部選手。マラソン競技に対する想いを熱く語ってくれた。3. サロンではボートに乗って海に出ることで、想像以上に気分転換ができていると嬉しそうにマリンスタッフに話していた。



PONAM-35swで真鯛を狙ったタイラバにチャレンジした陸上長距離部の服部勇馬選手(中央)と日頃から選手の活動をサポートするスポーツビジネス推進室の越智 樹さん(右)。

爽やかな笑顔が魅力 陸上長距離部の頼れるキャプテン

陸上長距離部の服部勇馬選手は東京オリンピックのマラソン競技にも出場経験があるトップアスリート。現在は陸上長距離部のキャプテンとして、チームの精神的支柱にもなっており、日々のトレーニングでは1日平均30kmを走る過酷な鍛錬を積む。そんなストイックな一面を持つ服部選手だが、実際に会ってみると親しみやすい雰囲気と爽やかな笑顔がとても魅力的だった。現在は2024年に開催予定のパリオリンピック出場を見据え、同年2、3月のマラソン出場を目指す多忙な日々を送っている。釣りに向かう道中、競技に対する意気込みを伺うと「パリオリンピックに出場して良い結果が出せるよう、精一杯頑張りたいと思います。」と熱い眼差しで語ってくれた。



撮影中はマリンスタッフと楽しそうに談笑するなど、親しみやすい人柄を随所に感じさせてくれた。



PONAM-35swのTVASをはじめとする装備の説明に耳を傾ける服部選手。初めて見るTVASの機能に驚きの声をあげていた。

アスリートの集中力の賜物か、竿先に伝わる繊細なアタリを待ちつつ、慎重にタイラバを巻き上げる服部選手。すぐにサポートなしで釣りを楽しめるようになった。
何度もタイラバを落としてはゆっくりと巻き上げ、粘り強く真鯛のアタリを待つ。



初のタイラバで見事に 真鯛をキャッチ アスリートが感じた海の魅力とは

ポイントに到着後はスタッフからタイラバの方法をレクチャーされ、早速熱心に耳を傾けていた。釣りが始まると、持ち前のセンスを発揮し、すっかり釣りのコツを掴んでおり、1人で真鯛2匹に連子鯛、ハタを釣り上げ、最後にはもう少し釣りがしたいと延長を望むほど、どっぷりと釣りの魅力に浸れた様子だった。釣行後には「楽しくてあつという間だった」「(魚が)食った感覚が掴めた気がしました」というコメントと共に、次は釣った魚を調理して食べるところまでしてみたい、と次なる目標も語ってくれた。また、今回の釣行が非常に良い気分転換にもなったようで、ポイント移動の際に鳥羽エリアのいろいろな島を周り、普段練習で走っているエリアを海上から見る事ができたのが、とても新鮮な体験だったと嬉しそうに語ってくれた。



立て続けに、2匹目となるハタを釣り上げる。

感覚を掴んだのか次々とヒットさせる服部選手。こちらも良型の真鯛だ。

最後に連子鯛を釣り上げ、この頃には釣りの時間の延長を望むほど、釣りの魅力に浸っていた。

待望の真鯛をキャッチし、記念撮影では眩しい笑顔をカメラに向けてくれた。

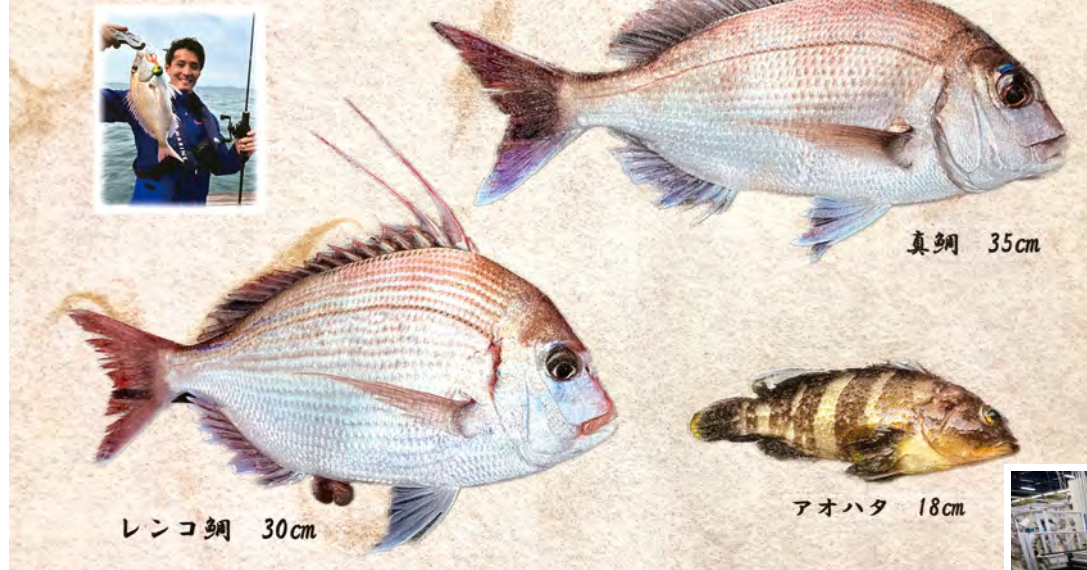


1. 船縁まで巻き上げた真鯛をマリンスタッフが慎重にタモでキャッチ。2. 辛抱強く釣りを続けた結果、見事に真鯛を釣り上げた。3. 最後に記念撮影をして今回の釣行は終了となった。服部選手の気さくで爽やかな人柄のおかげで、終始非常に良い雰囲気での撮影となった。



OCEAN STYLE 運動部コラボ釣り企画 vol 1

釣り人 服部勇馬
2023年6月7日



服部選手が釣り上げた魚でデジタル魚拓を作成。指で触れると確かな立体感を感じられる。これまでに無い質感を持つデジタル魚拓として、今後注目を集めそうだ。

2.5Dプリントの立体感ある デジタル魚拓を作成

実際に服部選手が釣り上げた魚は記念に魚拓を作って思い出として残すことに。そこで活用したのが、開発試作部が技術開発を進める2.5Dプリントの技術。2.5Dプリントとは、様々なデザイン、素材感、触感を型レスで繊細な凹凸で表現できる優れた加飾工法である。プリントに使用される熱膨張マイクロカプセル入りのシートは濃淡調整したカーボン印刷を行うことで、近赤外線

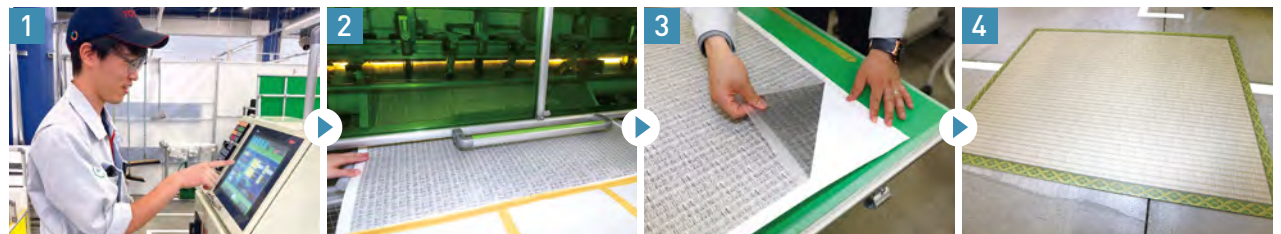
を照射するとカーボンの濃淡加減に合わせて熱で膨らむシートとなっており、吸熱性を利用して凹凸を形成することができる。その後、表面のフィルムを剥がすと、ホワイトの用紙の表面にはカーボンの濃淡に合わせて形成された凹凸が綺麗にできあがる。こちらをカラー印刷にかけることで、凹凸のある印刷が可能となっているのだ。開発試作部では2.5Dプリントの技術を使って内装の壁材やフロアマットなどの製作も行っており、試作品を見ても精度の高さを窺い知ることができた。今後はクルマやボートの内装などにも使われる可能性も秘めており、様々なシーンでの活用が期待されている。



開発試作部に導入されている印刷機。サイズの大きな印刷にも十分対応できる。



この日は量をイメージしてデザインされたデータをカーボン印刷していた。



1 近赤外線装置を操作し、照射の準備を行う。2 近赤外線を照射するとカーボンの濃淡加減に合わせて吸熱され、シート内に埋め込まれたマイクロカプセルが発泡することで凹凸を形成することができる。3 シートの表面にはフィルムが付いており、こちらを剥がすとカーボンの濃淡が取り、用紙の表面に凹凸だけが残る。4 同じ方法で既にカラー印刷された完成品を確認すると、本物の量と見間違える程のクオリティで印刷されていた。量の網目や量線に沿って指をなぞってみたが、違和感とは全く感じない。

今回2.5Dプリントについて、取材にご協力いただいた開発試作部の皆さん。2.5Dプリントの技術はカレンダーなどの販促物、デジタル魚拓、量などの床材や壁紙などにも活用でき、非常に可能性を感じる技術であった。



サイドワゴンを再利用してつくられた「SDGs Bench」。それぞれの椅子の座面には2.5Dプリントの技術が使用されている。



瀬戸内に佇む隠れ家 郷愁を誘う宿を訪ねる

～ 広島湾江田島 **グルメクルージング** ～

江田島は温暖で穏やかな瀬戸内海の広島湾に位置する島で、周辺には大小様々な島が点在し、風光明媚な景観が広がっている。島にはカフェや食事処も多いため、ランチクルージングにもうってつけの場所だ。今回はそんな江田島にあるお宿、「坪希旅館」を目指し、デルタマリン江波マリーナからPONAM-31で出航した。



広島市にあるデルタマリン江波マリーナ。50年以上続く老舗マリーナで、今春には最大15tの上下架にも対応可能な大型クレーンを導入した。

目的地となる江田島にはデルタマリンの金山 基翔さんが案内してくれた。瀬戸内の5ヶ所に拠点を展開するデルタマリンには、経験豊富なスタッフが多数在籍している。



フライブリッジは見晴らしもよく、心地よい海風を感じられる中でのクルージングとなった。

温暖な気候と豊富な特産物が魅力
広島湾に浮かぶ「恵み多き島」

広島県にある江田島は瀬戸内海でも4番目に大きな島で、広島市からはボートで約30分の距離にある。美しい自然に囲まれた島では広島県が全国1位の生産量を誇る牡蠣の養殖も盛んで、周辺の海域には牡蠣筏が多く見られる。島内では穏やかで日照時間の多い地中海に似た気候を活かし、オリーブの生産にも力を入れており、「安芸の島の実 江田島搾り」というオリーブオイルが国際オリーブオイルコンテストで最高ランクの賞を獲得するなど、国際的にも高い評価を受けている。また、1888年(明治21年)には海軍兵学校が東京築地から移転し、以降は海軍ゆかりの島として認知されている。



PONAM-31に乗り込みマリーナを出航。
マリーナから目的地へは40分ほど。



広島湾を爽快に駆け抜けるPONAM-31。



広島湾は穏やかで、潮の流れも安定しており、クルージングに適した海域といえる。

取材協力

デルタマリン江波マリーナ
〒730-0836
広島県広島市中区江波栄町10-30
TEL:082-291-8125





当日は風も無く、波も穏やかで絶好のクルージング日和。ポートの後ろに見えるのは江田島北西にある小黑神島。ダイビングスポットとしても人気の無人島だ。



江田島周辺は比較的走りやすい海域が広がるが、初めて行く場合は出航前にマリーナへ注意点等を確認しておくとい。



江田島南西にある大黒神島。釣りのポイントとしても人気となっている。



温暖で穏やかな瀬戸内海では、観光用の高速船も盛んに行き交っている。



江田島南東にある倉橋島。「くらはし海の駅」があり、ポートで遊びに行く環境も整備されている。



広島湾には様々な島が点在しており、島巡りをするだけでも十分にクルージングを楽しめそうだ。

穏やかな海に根付いたマリネジャーの文化

江田島周辺は狭い航路や潮の流れが急な場所も少ないため、瀬戸内海でも比較的穏やかな海域である。海面が安定していることで、船での移動もし易く、クルージングはもちろん、ボートフィッシング、SUP、ウェイクボードなど、マリネジャーが非常に盛んなエリアとなっている。江田島は今回の出航地点となるデルタマリン江波マリーナからも近く、ボート免許を取得して初めて島へのクルージングを考えている人にもおすすめの場所だ。ビジター係留可能な桟橋も多く、島のあちこちでクルージングを楽しむプレジャーボートも見ることができる。また、潮の流れが穏やかなため、釣りもしやすく、真鯛や青物はもちろん、メバル、チヌ、タチウオ、アオリイカなど、様々な魚種にチャレンジできる。さらに、少し足を伸ばせばダイビングスポットとしても知られる小黑神島もあり、年間を通じて、様々なマリネジャーを楽しめる。



江田島と倉橋島を繋ぐ早瀬大橋。橋の下は流れがやや急になっているため、周辺の船などにも十分に注意して進む。



早瀬大橋は世界的にみても珍しい工法が採用された歴史ある橋だ。

～広島湾江田島 **グルメクルージング**～



日常から切り離された坪希旅館の中庭。一步踏み込むと独自の世界観に引き込んでくれる。暗くなるとライトアップされ、より幻想的な空間になる。



ノスタルジックな非日常の雰囲気漂う空間で、旅情に浸ることができる。



明治創業以来、様々な歴史を紡ぎ現存する貴重な空間だ。

明治創業の老舗旅館で ノスタルジックな世界観に浸る

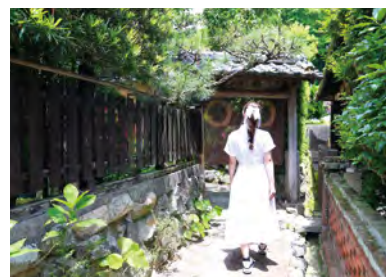
坪希旅館は江田島に佇む、明治創業の知る人ぞ知る隠れ家的な老舗旅館だ。敷地内に一步踏み込むとタイムトラベルしたかのような錯覚さえ覚えるノスタルジックな雰囲気が魅力で、館内のあちこちに往時の風情を感じられ、非日常を楽しむクルージングの目的地にはぴったりなスポットである。一方で、敷地内には広島湾を望むはなれ、「天風邸」もあり、レトロな魅力だけでなく、洗練された客室にはワーケーションのスペースも確保されるなど、時流に先んじた先進的な一面も持っている。クルージングの際には旅館の近くにある港に係留すれば海からもアクセスが可能だが、その際は前日までに旅館に連絡し、係留場所などを確認する必要があるため注意が必要だ。



ボートで訪れる際の係留場所は前日までに確認し、旅館からの指示に従うこと。



係留後は徒歩で旅館に行くことができる。



ひっそりと佇む隠れ家的な旅館の入口。足を運ぶごとに旅の期待感が膨らんでくる。



取材協力

坪希旅館 〒737-2312 広島県江田島市沖美町畑6-2 TEL:0823-48-0018



館内には創業当時を思わせる展示がいくつもあつる。



ロッキングチェアに揺られ部屋から中庭を眺めるのも一興。



多くの著名人も訪れており、飾られた色紙の数々が旅館の歴史と信頼を物語っている。



食事エリアは広く、洗練された空間となっており、団体での利用も可能。



日常の喧騒から離れ、ノスタルジックな旅館の雰囲気浸った後は待ちに待った食事の時間だ。食事は旅館で1番人気となっている特別コース「華(はな)」をいただく。

瀬戸内の海で育まれた 旬の味覚を味わう

郷愁を誘う佇まいが特徴的な坪希旅館。その最大の魅力は新鮮な海の幸を使った料理と言っても過言ではない。地元漁師から直接仕入れた旬の魚をメインに季節ごとの海の幸をふんだんに盛り込んだ料理の数々はどれも絶品。心地よい静寂に包まれたお宿の一室で愉しむ料理は「食べきれないほどの料理でお腹いっぱいになって帰ってもら。これが坪希の伝統です。」と語る料理長の言葉通り、品数も豊富なだけでなく、一品一品の盛り付けも非常に繊細で、食卓に並ぶ豊かに彩られた旬の逸品たちは旅に大きな満足感を与えてくれるだろう。海を駆け、非日常を旅する、大人を楽しむ人にこそ知ってほしい隠れ家だ。



料理には地元漁師から直接仕入れた旬の海の幸がふんだんに使われている。食事は事前予約制のため、訪れる際は必ず予約が必要だ。



石鯛の姿造り…地元で水揚げされた旬の石鯛にミズイカと地ダコのお造りや、素材の旨味が凝縮されたマダイの炙りを添えている。



1. 瀬戸内鯛の釜めし…目の前の海から仕入れた鯛を使っており、鯛の旨味がたっぷりとご飯に染み込んでいる。2. 瀬戸内海産ハモのおとし…旬の地元食材ハモを美しく盛り付けている。くせが無く素材本来の上品な味が楽しめる。3. 車エビの踊り…鮮度抜群の車エビを目の前でしめる演出も人気。刺身が塩焼きでいただくことができる。4. 煮アワビ…地元で採れた新鮮で豊かな風味も味わえるアワビに肝を添えている。5. 峠下牛のフィレステーキ…広島県にある竹原産のブランド牛を使用。赤身と霜降りのバランスも良く、肉の旨味を堪能できる。6. 瀬戸内海産鯛のガーリックバター焼…ガーリックバターと鯛が絶妙な相性を見せる。新鮮な野菜も添えられた陶板焼きは満足度も高い。



敷地内には「天(そら)」と「風(かぜ)」の2室で構成されたメゾネットタイプの2階建て客室「天風邸」があり、和モダンな雰囲気の客室に宿泊することもできる。

YouTubeで
動画も配信中



YouTube

湖上から美しい景観を眺める

日本最大の汽水湖「浜名湖」サイトクルージング

浜名湖は日本の汽水湖の中で最長の周囲長をもつ日本有数の湖として知られており、湖を囲う様に歴史深い名所も点在する。また、豊かな水質により育まれた多様な水産物を楽しめる名店も数多くあり、絶好のクルージングエリアとなっている。今回はPONAM-28Vで浜名湖を巡り、その魅力の一端をお伝えしようと思う。

今回はPONAM-28Vに乗って静岡県浜松市にある富士マリーナから出航。湖上から浜名湖のクルージングスポットを巡る。



出航前にはクラブハウスで本日の航行ルートを確認。



テラスでは潮風を感じながらのんびりと寛げる。



今回浜名湖を案内してくれた富士マリーナの安間雅俊さん。経験豊富なマリーナスタッフとして、オーナーからの信頼も厚い。



マリーナは東名高速道路の舘山寺スマートICから数分とアクセスも良く、艀装やメンテナンスの技術力にも定評がある。



日本で唯一の湖上を渡る「かんざんじロープウェイ」と浜名湖パルパルの大観覧車「コクー」。どちらもランドマークとしては一級品で、ここから始まる浜名湖サイトクルージングの期待感を高めてくれる。



豊かな水産資源に恵まれた食と遊びの宝庫

淡水と海水が混ざる汽水湖の浜名湖は生き物のための栄養も豊富で、海の生き物の往来もあることから、多様な生態系を形成している。そのため、フィッシングスポットとしても多くのアングラーに愛されている湖だ。また、シラスの漁獲量と品質が全国有数の舞阪漁港をはじめ、うなぎや牡蠣などの養殖業も盛んで、鮮度抜群のグルメを楽しめる場所としても知られている。今年は浜名湖に面した浜松市でもNHK大河ドラマの撮影が行われており、三河～静岡エリアはロケ地を巡る聖地巡礼で連日賑わいを見せている。クルージングの出発地点となったのは東名高速道路の舘山寺スマートICから車で数分の位置にある富士マリーナ。最初の目的地となる舘山寺エリアには湖上を渡る日本で唯一のロープウェイ「かんざんじロープウェイ」があり、船からであれば浜名湖を渡るロープウェイを間近で見ることできる。ロープウェイの向こう側には浜名湖パルパルの大観覧車「コクー」があり、雄大な眺めを楽しませてくれる。



今回のクルージングに使用されたPONAM-28V。トヨタハイブリッドハルが採用され、軽量ながら優れた剛性を持ち、波あたりも非常に柔かい。



清潔感のある船内は静粛性も高く、キャビンではスムーズに会話も楽しめる。



お店には浜名湖に面したテラス席も完備。浜名湖の心地よい水音の中、ゆったりと食事を楽しむことができる。

絶品グルメと古刹の歴史を味わう 荘厳な空気感が漂う館山寺エリア

今回のサイトクルージングで昼食場所を選んだのは「うなぎ湖畔食房館山寺園」。お店は館山寺のすぐ下にある60年以上続く老舗で、館山寺エリアでも指折りの人気店だ。秘伝のタレで焼き上げられた香ばしいうなぎは絶品で、「うなぎせいの御膳」はふっくらとしたうなぎを堪能でき、薬味を加えることで、様々な食べ方でも楽しめる。新鮮なシラスを贅沢に用いた「シラスまぶし丼御膳」にはシラス本来の旨味が凝縮され、こちらも人気となっている。食事の後は館山寺へお参りし、クルージングの安全航行を祈願。「館山寺大観音」へと足を運ぶと、戦前から今もなお残る観音像の荘厳な雰囲気に触れることもでき、気持ち新たに館山寺エリアを後にした。



浜名湖でも指折りの人気店「うなぎ湖畔食房館山寺園」。



「うなぎせいの御膳」5,720円。メインのうなぎせいは浜名湖産の新鮮なうなぎを甘めのタレで関東風にふっくらと香ばしく焼き上げた逸品。こちらは浜名湖に来たら見逃せない。



「シラスまぶし丼御膳」2,860円。鮮度抜群の生シラスと釜揚げシラスが贅沢に入ったシラス丼。こちらも浜名湖に来たら是非味わっておきたい一品だ。



館山寺に隣接するお店には桟橋も備っており、湖上からのアクセスも抜群である。



お店のすぐ上に館山寺があり、駐車場から階段を登ってアクセスできる。



館山寺で安全航行を祈願。ここは起源を辿ると平安時代にまで遡る古刹だ。



館山寺聖観音菩薩（館山寺大観音）は戦前に建てられ、今なおこの地を見守っている。

湖上から美しい景観を眺める

日本最大の汽水湖「浜名湖」**サイトクルージング**



ダイダラボッチ伝説が残る浜名湖唯一の無人島「磔島」。琵琶湖の竹生島より勸進した市杵島姫を祀る磔島神社がある由緒ある島で、間近で見られるのはクルージングならでは。



恋人の聖地と言われる浜名湖SAのハートロックも湖上から見ることができる。

奥浜名湖から南浜名湖へ 表情豊かな浜名湖の魅力に触れる

館山寺エリアを離れ次に向かうは磔島だ。道中で恋人の聖地と呼ばれる浜名湖SAのハートロックに寄り、さらに西側の磔島へと向かう。磔島はダイダラボッチの伝説が残る浜名湖唯一の無人島で、現在は上陸不可となっている。島には琵琶湖の竹生島より勸進した市杵島姫を祀る磔島神社があり、クルージングスポットとして湖上から見学に訪れる人も多い。磔島を見学したら北へ進路を変え猪鼻湖神社へ。猪鼻湖神社は浜名湖とその支湖である猪鼻湖が繋がる瀬戸水道にあり、赤い太鼓橋と湖上に突き出た獅子岩が特徴的な神社だ。海上安全のご利益もあるため、ここでもクルージングの安全を願い、最後の目的地となる弁天島へ向かうことに。



浜名湖と猪鼻湖が繋がる瀬戸水道にある猪鼻湖神社は海上安全のご利益がある神社としても知られる。晴れた日は青い湖面に太鼓橋の鮮やかな赤が写真映えするおすすめの撮影スポットだ。



赤鳥居の形をした「弁天島観光シンボルタワー」。湖の干満によって様々な表情を見せる。浜名湖でのクルージングを楽しむなら、ぜひここは訪れておきたい場所だ。

湖の北側に位置する猪鼻湖神社からほぼ南端に位置する弁天島へは、船でなら真っ直ぐ浜名湖を縦断する形で向かうことができる。途中、東海道新幹線の陸橋の下を抜けるのだが、運が良ければ橋下から新幹線を間近で見ることが可能だ。陸橋を抜けしばらく進むと大きな赤鳥居「弁天島観光シンボルタワー」が見えてくる。高さ18mの赤鳥居は天候や潮の満ち引きで多彩な表情を見せてくれ、文字通り南浜名湖のシンボルとも言える観光名所。こんな絶景を自分だけのプライベートな空間からのんびりと楽しめるのもマイボートで楽しむクルージングの醍醐味と言えそう。今回は館山寺エリアに加え、北は猪鼻湖神社、南は弁天島まで、湖上を走るからこそ幅広いエリアを効率的に旅することができた。広大な浜名湖を思うままに駆け抜け、浜名湖の見せる豊かな表情を味わう。ボートだからこそ楽しめる贅沢な休日だ。



東海道新幹線の陸橋下を進むPONAM-28V。ここは潮流が早いいため航行時は十分な注意が必要。また、潮の干満をしっかりと把握し、陸橋とボートの間に十分な高さがあることを確認して航行する必要がある。

タイミングが合えば新幹線の通過を見られることも。頭上ほんの数メートルを走り抜けていく様は見応え十分だ。



トヨタが誇る操船支援システム
「TVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)」

TVASがサポートする意外な海の楽しみ方



TVAS(トヨタバーチャルアンカーシステム)はコンピュータが位置、風、潮流を判断し、自動制御によって船体の位置や方向を保持してくれる優れた操船支援システムだ。風向き、潮流、使用用途など、それぞれのシチュエーションに合わせて5つのモードをワンタッチで切り替えることもでき、操船時の負担を大幅に軽減してくれる。TVASはマイボートで過ごす時間をより有意義にしてくれる、まさに縁の下の力持ちといった機能である。

釣りだけに留まらない、TVASに 定点保持を任せられるメリット

海上から見る花火は陸から見るものとは一味違った趣があり、花火の開催日には花火を目当てに海へと出航していくオーナーも多い。5月20日に名古屋港ガーデンふ頭で開催された「名港水上芸術花火」も例外ではなく、海上には多くの船が集った。夜景と共に空と海の間で輝く花火は息を呑むほど美しく、この共演を家族や仲間だけのプライベートな船上で、リラックスしながら眺められる喜びはボートオーナーの特権だ。TVASがあれば、風や潮流に流されるマイボートの定点保持に煩わされることなく、周囲の安全確認を行いつつ、この特別な体験を大切な人と共有できるのだ。

TVASを搭載したPONAM-31に乗って「名港水上芸術花火」を海上から鑑賞。意外性のある用途かもしれないが、TVASを花火鑑賞に用いるユーザーも多い。

取材協力

NTPマリーナりんくう

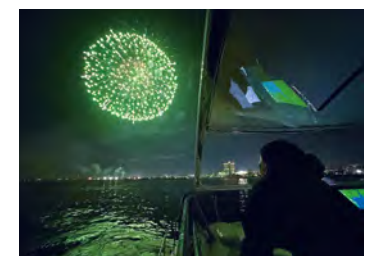
〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3丁目6番地の1
TEL:0569-35-7200



TVAS
TOYOTA VIRTUAL ANCHOR SYSTEM



花火を見る場所と船首方位を決めたらTVASを起動。今回は「バーチャルアンカーモードC」を使用。



向きたい船首方向と位置をセットすれば、風向きや潮流に関係なく設定した船首方向・位置を保持してくれる。



あくまでTVASは快適な操船を支援するシステム。かけがえのないひと時を守るためにも、肉眼での安全確認は欠かせない。



TVAS起動中とはいえ、夜間航行となるため、TVASの使用状態はもちろん、レーダー等の航海計器類なども小まめにチェックしておきたい。

トヨタタイムズ



トヨタタイムズは2019年にスタートしたオウンドメディアとして、モビリティ・カンパニーに変革を進めるトヨタの内側を”ありのまま”伝えている。主にWebサイトやYouTubeを通じて、国内外でのトヨタの活動を中心に、それぞれの部署が取り組む活動、対談企画、トヨタが支援するスポーツ、決算発表や労使交渉に関する話題まで、幅広いジャンルの情報を発信している。

トヨタタイムズ
を見る



「海のモビリティ」がトヨタタイムズに掲載 クルマ屋だからつくれるボートとは

トヨタのマリン事業は1997年にスタート。すべての人に移動の自由を掲げるトヨタにとって、海のモビリティに取り組むことは必然とも言える。とはいえ、構造も用途もクルマと異なるボートづくりにおいて、デザイナーは何に悩み、何を実践しているのか。トヨタタイムズでは「クルマ屋だからつくれるボートがある」というデザイナーの言葉とともに、ボートをデザインする過程で大切にしたことやデザインに込められた想いについても紹介されている。

トヨタタイムズで
記事を見る



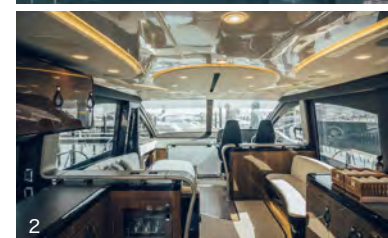
スポーツユティリティクルーザー「PONAM-31 Z Grade」。洗練されたスタイルはもちろん、カラーやマテリアルにもデザイン部の拘りが凝縮されている。ボートは常に紫外線、水、塩にさらされながら、船内では様々な使われ方をするため、マテリアル選定でこれほど過酷な条件は無いという。また、後ろから乗船するからこそ、後部の印象も重要であり、クルマの外形デザインで学んだ知見も生かされている。定員は12名。



「PONAM-31」は船底素材にFRPではなく、アルミを採用。ここでもクルマづくりで得た高い技術力が活かされている。側面のシルキーゴールドのガーニッシュは、デザインアクセントだけでなく、クルマの空力デザインを採用することで、後部デッキへの風の巻き込みも抑える。

カーデザイナーでしかできない ボートデザイン

LEXUS LY650の全長65フィートという大胆なプロポーションは、海におけるラグジュアリーな象徴を目指したという。まるで巨大なクーペタイプのクルマが浮かんでいるような光景だ。「桟橋から見えるファーストインプレッションで何を与えるか、心に響くかを意識しました。」心に訴えかけるカーデザインの知見を生かしつつ、ボートで表現したことをやがてクルマにフィードバックできたらいい、岩田主任はそう考えている。キャビンのデザインを見ると、もはや建築デザインと言っても過言ではない。非日常な空間をつくるため、色だけでなく、手触りで違いがわかる「素材のコントラスト」も徹底している。



1. ラグジュアリーヨット「LEXUS LY650」。サイドデザインはクーペそのもの。運転する人、招かれた客、もてなすホスト、釣りを楽しむ人、海に感動する子ども、パカンスを過ごす人など、あらゆる人のわがままを受け入れる唯一無二の空間を極めている。
2. 間接照明をあしらった天井や、木目を生かした艶のあるウッ드의調度でラグジュアリーな空間を演出。レクサスのLの字が随所に潜んでいる。



「ボートはクルマよりもデザインできる領域が幅広く、細部のマテリアル選びではセンスが見抜かれます。だからこそ、大きなやりがいがあります。」
▶ ビジョンデザイン部 金丸 克司



「海に出るということは、信号も渋滞もなく、他人の視線もない“究極のプライベート空間”を手に入れるということです。クルマという感動や興奮にあたる要素が非常に重要です。」
▶ ビジョンデザイン部 岩田 哲弥

陸海空の領域で、すべての人に 移動の自由と楽しみを

今年4月には「トヨタモビリティコンセプト」が発表され、「新しい領域へのモビリティの拡張（モビリティ2.0）」が語られるなど、モビリティ・カンパニーを目指す動きは今後ますます加速していくだろう。クルマに留まらず、陸海空の領域で、すべての人に移動の自由と楽しみを。トヨタの思想は海の上でも変わらないようだ。



マリン事業室の林と高井。
それぞれ生産・調達と
企画・開発を担う。

トヨタタイムズ連載「夢をデザインしていく」

トヨタタイムズで連載中の「夢をデザインしていく」では、トヨタのデザイン部にフォーカスし、デザイナーが関わった様々なプロジェクトやデザイン事例などを独自の視点で分かりやすく紹介している。



どうして、トヨタがトイレをデザイン？
その真相に迫った！

「ビジョンデザイン部」に届いた珍しいリクエスト。それはなんと日本ではほぼ前例のない「移動型バリアフリートイレ」のデザイン。デザインから開発までの道のりを紹介。



未来は八王子にあった！？ 助けたいなる
ロボットやチンアナゴをつくる意味とは

八王子のデザイン拠点「先進デザイン開発室」を訪問。モビリティ・カンパニーへの変革を目指し、クルマに限らず幅広い分野にて次世代型のプロダクト開発を進める部署を取材。



「海藻」や「紅茶キノコ」がクルマの一部に！
CMFXデザインって何？

五感に関するあらゆる研究・開発を進めるクルマ開発センター「カラーマネジメント室」を取材。モビリティで使える素材を探すマテリアルの先行研究について紹介。



クルマ好きでも「気づかないデザイン」？
奥深いUXデザインの裏側を公開

「ビジョンデザイン部」のUX（ユーザーエクスペリエンス）デザイナーを取材。UXデザイナーは普段からどのような仕事をしているのか。容易には言語化できない「まだない何か」に挑むチームの活動に迫る。



「いま、内装デザインが面白いって本当？
デザイン拠点で語られた内容とは

内装デザインに情熱を燃やし、その魅力を熱く語る「レクサスデザイン部」の3人を直撃。「愛車と過ごす時間の99%は車内」と力説するインテリアデザイナーが語る知られざる内装デザインの世界とは。

トヨタタイムズ連載
「夢をデザイン
していく」を見る



モビリティを通して街とマリンが身近に感じられる プライマルシェ at 芦屋マリーナ

Prime marché at Ashiya Marina

TOYOTA MARINE



プライマルシェは「サービス・オン・モビリティ」によって暮らしをより便利に、豊かにするサービスで、モビリティの機動性を活かし、日々変わる人々のニーズに合ったタイムリーなサービスを展開している。今回はプライマルシェを運営するプライムライフテクノロジーズとトヨタマリンがコラボしてイベントを開催することで、街を豊かにする新しいサービスに触れる体験はもちろん、ポーナムシリーズの体験試乗・船内見学などを通じ、マリンレジャーの魅力も体感することができた。

今回トヨタマリンとコラボしてイベントを開催したプライムライフテクノロジーズは、パナソニックホームズ、トヨタホーム、ミサワホーム、パナソニック建設エンジニアリング、松村組の5社のホールディングス会社で、「くらしとテクノロジーの融合」による未来志向のまちづくりを目指して2020年1月にパナソニックとトヨタ自動車が出資し、三井物産を加えた3社が株主となっている。

体験試乗艇にはPONAM-31が用意され、1日6回に分けて試乗が行われており、事前予約を行っていた多くの方が船に乗る楽しさを体験していた。



イベント当日は天候にも恵まれ、気持ちのいい海風のなか、来場者の素敵な笑顔が何度も見ることができた。



試乗の際はPONAM-31の操船支援システムについての説明もあり、「TDS(トヨタドッキングサポート)」を使用した離着岸のデモンストレーションも行われていた。



取材協力

芦屋マリーナ 〒659-0035 兵庫県芦屋市海洋町11-1 TEL:0797-35-6662

もっと海を身近に 新たな体験に弾む声

本イベントの体験試乗艇となったのはトヨタマリンの人気モデル「PONAM-31」。船内見学艇には「PONAM-35」が用意され、海と人をもっと親身になれるよう、イベント仕様のドレスアップも施されていた。また、陸上では燃料電池自動車「MIRAI」が展示され、イベントに必要な電力を発電し、各テントに供給していた。更に、会場奥にはキッチンカーが駆けつけたほか、お菓子のプレゼントや車エビ釣り体験、海鮮バーベキューなどのテントも設置され、会場のあちこちで楽しげな笑い声がこだました。今回のイベントは来場者がボートやクルマを通じて、新しい体験やサービスに触れることのできた大変有意義な内容となっていた。

1. トヨタマリンのテントには試乗を予約していた多くの方が訪れた。2. 会場では受付でアンケートに答えてくれた方限定でお菓子のプレゼントも行われた。3. 車エビ釣りを通じて、マリンライフから食育へ繋がる体験もできた。4. マルシェに必要な電力は燃料電池自動車MIRAIによって発電され、各テントへ供給されていた。5. ハワイのソウルフード「ガーリックシュリンプ」をアレンジしたオリジナルの海老料理を提供するキッチンカー「Mr.Shrimp」。6. 長崎の自家農場でこだわりの餌で育んだ「グラバーポーク」が自慢のキッチンカー「ミユキデリカ」。



試乗後はトヨタマリンスタッフがアンケートを実施。PONAM-31に乗ってみて感じたことや、今回のイベントの感想を楽しそうに話す来場者の様子が印象的であった。



イベントが開催された芦屋マリーナではボートやクルマの展示だけでなく、様々なテントやキッチンカーも並び、非常に見応えのある内容となっていた。



船内見学艇にはPONAM-35を用意。イベント仕様にドレスアップされたPONAM-35の船内を楽しそうに見学する子供の姿も見ることができた。

トヨタマリン主催・参加の試乗会情報は
HPや各種SNSでも発信中



ホームページ



Instagram



Twitter

充実した設備と一貫した「内製」サポートが強み NTPマリンサービスセンター

トヨタマリンでは全国にある約50社の販売店及び約80社のサービス店と契約を結び、オーナーが安心してボートライフを楽しめるよう、幅広いエリアでサポート体制を整えている。今回はトヨタマリン販売店のひとつ、NTPマリーナりんくう(愛知県常滑市)内にあるNTPマリンサービスセンターを訪問。打ち合わせから引き渡しまで、一貫した「内製」サポートが魅力の優れたサービス体制について話を伺った。



愛知県常滑市のNTPマリーナりんくう内にある「NTPマリンサービスセンター」。70ft(24m)クラスの大型艇を4隻一度に収容できる。



1. マリーナには60t&20tのソーウェイ方式のホイストクレーンを完備。大型艇の受入体制も万全だ。20~50ftクラス艇をスムーズに運べるクレーンも備わる。2. 70ft/60tクラス艇にも対応可能な自走式のシップキャリアはボートの運搬・移動をスムーズにするだけでなく、作業の安全性・信頼性も高めている。3. 陸上ヤードにはポナムシリーズで固められた一角もあり、マリーナの豊富な販売実績が窺い知れる。4. マリーナにはメンテナンス経験豊富なメカニックが多数在籍。5. エンジン修理や艀装をはじめとした6つのテクニカルメニューも用意され、サービス体制は非常に充実しており、安心して愛艇を任せられる体制が整っている。6. サービスセンター2階には打ち合わせスペースを備えた事務所と受付がある。実際に作業を行う技術スタッフと直接話ができるため、細かなリクエストも伝えやすい。

日常のメンテナンスからカスタマイズまで 快適なマリンライフを支える影の立役者

NTPマリンサービスセンターはNTPマリーナりんくう内にある大型サービスセンターで、70ftクラスを4艇同時に収容できる建屋内に金属、FRP、木材、機械などを加工する専用エリアを設けている。建物の右側一区分のエリアはFRP修理と塗装専用のエリアになっており、粉塵やミストが飛び散らないよう、隔壁で仕切るとともに、強制排気装置(集塵機)も備わっている。サービスセンターにはメンテナンスや艀装に関する相談が日々集まっており、幅広い業務に対応するため、様々な分野で力を発揮するサービスのスペシャリストが多数在籍している。そのため、エンジン補修、船体修理・メンテナンス、更にはオリジナルパーツ製作から特殊なカスタマイズに至るまで、経験豊富なスタッフがオーナーを徹底的にサポートしてくれる。また、打ち合わせから引き渡しまでは、基本的に「内製」で一貫したサポート体制が組まれており、オーナーの快適なマリンライフには欠かせない施設となっている。



センター内には広大な修理・作業エリアが広がり、常時様々なタイプのボートをメンテナンスしている。施設内にも2.8tと1.5tのクレーンが備わり、効率的に作業ができる。



7. 金属加工室にはステンレス、アルミ、真鍮等の部品の曲げ、溶接加工の設備が整い、レーダーアーチやハードトップ等のオリジナルパーツ製作にも対応できる。8. 木工・FRP加工室では集塵設備と赤外線乾燥機を備え、作業の効率化を図っている。9. サービスセンターの右側一区分にはFRP修理と塗装専用エリアが設けられており、隔壁で仕切った上で集塵機を備えるなど、作業中に生じる粉塵やミストに対するケアも万全だ。10. 塗装エリアでは色鮮やかなカラーに塗装されたPONAM-31を見ることができた。11. 船体塗装の際には、オーナーの要望をしっかりと聞いた上で、最適なカラーを選んで提案してくれる。12. 調色室ではクルマの塗装業務の経験も豊富なスタッフが、船体塗装に使用する色を自らの目で調色して作っていく。13. 国産艇から輸入艇のエンジンやドライブの修理を行う機械加工室。オーバーホールにも対応できるだけでなく、充実した専門工具も完備している。14. 部品庫には様々なメーカー艇に対応できるだけの豊富なメンテナンスパーツやバッテリー等の用品をストックしている。



NTPマリンサービスセンターには経験豊富なサービスマンが揃い、センター長を務める花本比呂志さん(写真右から3人目)を中心に、日々幅広いサービス業務に対応している。センター長の花本さんは、オーナーとの信頼関係を最も大切にしており、これからもスタッフ全員で力を合わせて高品質なサービスを提供していきたいと考えている。ポナムシリーズについて、サービスマンとして感じることをお聞きすると、アルミハルやハイブリッドハルの堅牢性やエンジンの信頼性、更には作業する際の装備品へのアクセスの良さなどに好感を抱いていた。また、トヨタマリンのサービスマニュアルや部品供給システムについても、高く評価しており、「私たちがサービス業務を行う上で、非常に重要な役割を果たしています。」と語ってくれた。



芦屋の街なかに佇む 日本が世界に誇れるマリーナ



兵庫県芦屋市にある芦屋マリーナ。大阪と神戸からクルマで約30分の場合所あり、「街のなかにあるマリーナ」として知られている。



近年の大型艇化に対応するため、今年3月には75t大型クレーンを導入。既存の50t大型クレーンも完備しており、2台体制でヤード業務を効率良く行っている。



1. 陸上ヤードにはポーナムシリーズが多数艇置されていた。2. 落ち着いた雰囲気のエントランスが訪れた人を暖かく迎え入れる。3. 洗練されたロビーラウンジがこれから始まるマリライフへの期待を高めてくれる。



海上バースは全てシングルバースを採用。ポーナムシリーズをはじめ、大小様々なタイプのポートやヨットが係留されている。

全艇シングルバースを完備 愛艇までは電動カートで送迎

芦屋マリーナは2004年4月に兵庫県芦屋市にオープンして以来、洗練されたサービスと充実した施設を兼ね備えた国内でも屈指の規模を誇るマリーナだ。海上バースは全てシングルバースを採用し、利用バースまでは電動カートでスタッフが送迎してくれるなど、行き届いたサービスが自慢で、マリーナに船を置くことのステイタスさえ感じさせてくれる。大阪と神戸の両都市からはクルマで約30分と都心部からのアクセスも良く、ビジター桟橋も完備されており、遠方からクルージングで訪れた際にはマリーナを拠点に大阪や神戸での観光も楽しめる。隣には芦屋ベイクート倶楽部(完全会員制)があるため、ベイクート倶楽部会員であればビジター桟橋にマイポートに係留し、ホテルにチェックインすることもできる。マリーナは遊びの拠点としても非常に恵まれた位置にあり、淡路島や友ヶ島周辺では真鯛、青物、根魚など、年間を通じて旬の魚を狙って釣りを楽しめる。他にも、気軽に楽しめる神戸港クルーズをはじめ、淡路島へのランチクルーズ、瀬戸内海へのロングクルーズなど、様々な遊びにチャレンジできる。



海上でも大型艇を収容できる大型艇専用バースを完備。



各バースまでは電動カートでスタッフが送迎してくれる。それぞれのバースにはドックバンパー・陸電・水道(ホース付き)・コーナーボックスなどを設置している。

非日常の時間を提供する マリーナが感じるポーナムの魅力とは

今回は芦屋マリーナの松田正明ハーバーマスターにポーナムシリーズの印象をお伺いすると、「ポーナムはアルミハルの剛性も高く、走っていて安定感があります。ステアリングの反応も素晴らしく、幅広い年代の方に走りの楽しさを体感して頂けるポートだと思います。また、静粛性也非常に高く、ドライブはとても静かです。」と、アルミハルの剛性や静粛性を評価していた。また、ポーナムシリーズのメンテナンス性について話が及ぶと、「ポーナムはメーカーの定期メンテナンスもしっかりしており、トラブルもほとんど無いです。些細なことでも、問い合わせをするとトヨタマリンのサービスマンが直ぐに駆けつけてくれるので、マリーナとしてもこのフットワークの軽さには大変助けられています。」とメーカーとしてのサービス体制についても好印象を持っていた。最後

にテクノロジー(操船支援システム)についてお聞きすると、「離着岸をサポートしてくれるTDS(トヨタドッキングサポート)は非常に優れた操船支援システムだと感じました。オーナー様がマリーナの多目的桟橋を利用する際、活用されているのを見て、とてもスマートだと思いました。」と操船支援システムについても、高い評価を頂くことができた。洗練された雰囲気が漂うマリーナを拠点に日頃から数多くの艇種を管理する芦屋マリーナの松田ハーバーマスターからも、ポーナムシリーズの優れた性能やトヨタマリンのサービス体制に対する信頼感を感じることができた。



4. マリーナに併設するハーバーダイニング「マレロッソ」。5. 窓の外にはマリーナを望む開放感溢れる景色が広がっている。6. テラス席では心地よい風を感じながら家族や仲間と食事ができる。7. お店の1番人気となっている「Cマレロッソコース」では旬の食材を美しく調理したメイン料理をはじめ、絶品のパスタ・リゾットなどが楽しめる。



芦屋マリーナの松田正明ハーバーマスター。豊富な経験を活かし、マリーナを訪れた人たちに魅力的なマリライフの提案を行っている。マリーナを支えるハーバーマスターとして、若いスタッフからの信頼も厚い。



PONAM-31

SPORT UTILITY CRUISER



※写真はZグレードです。

PONAM-31
Z Grade
Designed by
TOYOTA MARINE × MODELLISTA



※写真はZグレードです。



※写真はZグレードです。

PONAM-31に追加された「Zグレード」ではコロナ禍で変化する生活様式に対応すべく、「Workcation Utility & Luxury Party Style」を開発コンセプトに、利便性とスタイリッシュさを両立する新装備を数多く採用。デザイン面ではクルマのドレスアップパーツを世に送り出す「MODELLISTA」とボートでは初めてコラボレーションし、先進かつ優雅な佇まいを演出。また、船内にはオプションでWi-Fi設備をビルトインすることが可能で、海を眺めながらの開放的なサードプレイスのワークスタイルを実現。室内空間は誰もが船内で寛げる快適性が追求され、「withコロナ」の時代でも安心して利用できるよう、トヨタ車両にも多く採用される「ナノイーX」をポーナムシリーズとして初搭載(標準装備)している。



※写真はXグレードです。



※写真はXグレードです。



※写真はXグレードです。

PONAM-31は「スピード」「乗り心地」「居住性」の全てにこだわり抜いた、「走りの楽しさ」を体感できるボートで、走行時には抜群のスピードはもちろん、高い安定性も発揮し、スポーティーな走りを存分に楽しめる。サロン入口には3枚扉を採用し、従来よりもワイドな開口部の実現により、サロンとデッキの一体感を感じられる。Xグレードのサロンはネイビーカラーをアクセントにしレザー調で統一され、ソファやテーブルの高さを低めに抑えることで、広がりのある室内空間を演出。他にもオプションで安心かつ正確な離着岸ができるトヨタドッキングサポートも搭載可能となり、これまで以上に操船の負担が減りそうだ。まさにスポーツユティリティクルーザーの名に相応しい1艇と言えるだろう。

全長/全幅	10.57m/3.20m
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 2基
最高出力	191kW(260PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	620リットル
清水タンク容量	110リットル
定員	12名 (フライブリッジ 5名)
航行区域	沿海
本体メーカー希望小売価格(税込)	Xグレード 45,870,000円 Zグレード 49,940,000円



PONAM-35sw

PREMIUM CRUISER



PONAM-35swは外洋での本格的なフィッシングや走る遊びを味わえるクルージングのシーンにおいて、ご家族やご友人、女性にも喜ばれるラグジュアリーな時間を過ごすことができるモデルだ。一步サロンに入ると、洗練された空間が広がっており、居住性の高いサロンで上質なひとときを過ごすことができる。また、サロン奥に配置されたギャレーはシンク、電子レンジ、調理スペースの他に、大容量冷凍・冷蔵庫が設置され、ボートステイも存分に楽しめる。他にも、トヨタドライブアシストとトヨタバーチャルアンカーシステムを装備していれば、既存艇にもトヨタドッキングサポートを追加装備することが可能だ。走りと居住性を両立したボートに新たな操船支援システムを搭載することで、より快適なマリンライフを楽しませてくれる。

全長/全幅	11.95m/3.94m
エンジン型式(ディーゼル)	M1VD-VH
排気量	4,461cc × 2基
最高出力	272kW(370PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	850リットル
清水タンク容量	170リットル
定員	12名 (フライブリッジ 5名)
航行区域	沿海
本体メーカー希望小売価格(税込)	※現在注文を停止しております。



PONAM-28V

PREMIUM SPORT CRUISER



※写真はSグレードです。



※写真はSグレードです。

PONAM-28VはFRP、アルミ材、カーボン繊維の3種類をバランス良く使用したトヨタハイブリッドハルを採用し、従来のアルミハルに比べ、同等以上の剛性感と凌波性を実現するだけでなく、船体重量の軽量化にも成功している。そして、1基掛けエンジンでは世界初となる1軸TVASにおいては新たに作動中の充電機能を追加しており、使用時間が従来の約2倍に延長されたことで、これまで以上に長時間のフィッシングにも対応可能となった。船体のデザインはカーデザインで採用される複雑な3D曲面により、立体的なフォルムと曲線美を追求し、美しいデザインを実現。他にも、キャビン内には自動車で培った技術に応用した業界最高レベルの除湿機能付きマリンエアコンを搭載している。

全長/全幅	9.14m/3.16m
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
排気量	2,982cc × 1基
最高出力	191kW(260PS) × 1基
使用燃料	軽油
ハル	トヨタ ハイブリッド ハル
燃料タンク容量	330リットル
清水タンク容量	56リットル
定員	12名
航行区域	平水、限定沿海、沿岸
本体メーカー希望小売価格(税込)	Sグレード 23,980,000円 Xグレード 30,800,000円



TOYOTA MARINE Ocean Style

- 発行人 トヨタ自動車株式会社
- 編集長 前谷 直紀（マリン事業室）
- フォトグラファー 福地 和男 / 石川 三紘 / 石川 雄基
- ライター 中田 雅博 / 石川 雄基 / 神谷 仁
- デザイン・レイアウト 野口 浩司 / 加藤 憲明
- 企画・製作 M's PLANNING inc.



TOYOTA MARINE × muta MARINE



コラボポロシャツプレゼント

アンケートにお答え頂いた方の中から
抽選で3名様に
TOYOTA MARINE × muta MARINE
コラボポロシャツをプレゼントいたします。

応募締切: 2023年10月31日(火)まで

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

アンケートに
回答する

所要時間: 約4分



※ご回答頂きましたアンケート内容に関しましては、今後の編集・企画立案の際に参考にさせていただきます。また、ご入力頂きました個人情報については読者プレゼント発送のほか、当社が個人の内容を特定できないような統計的な資料を作成する際に利用させて頂く場合もございます。個人情報に関しましては当社にて厳重に管理し、この目的以外で許可なく第三者への提供はいたしません。



More Exciting!



PHOTO: PONAM-31 Z grade ※写真には撮影用小物、オプションパーツ等を含むことがあります。

Sport Utility Cruiser

PONAM-31 ZGrade

Designed by TOYOTA MARINE × MODELLISTA

詳しくは、お近くのトヨタボート販売店、またはフリーダイヤルへお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社 マリン事業室 トヨタマリン営業所 ☎ 0120-532-451 www.toyota.co.jp/marine/



Play!

海の楽しさは、無限だ。

一人ひとりの海の楽しみ方に応えるための、
テクノロジーとデザイン。

そのパフォーマンスを体感した時、
あなたの海の遊びはきっと広がっていく。

フィッシングにとどまらない、
海を楽しみ尽くすための贅沢な一艇。

Premium Sport Cruiser
PONAM-28V

カタログ請求はこちら



◆Sグレード：本体価格 23,980,000 円 (税込) / Xグレード：本体価格 30,800,000 円 (税込)

※写真はSグレード、オプション装着艇 ※写真には撮影用小物等を含むことがあります。

TOYOTA MARINE

詳しくは、お近くのトヨタボート販売店、またはフリーダイヤルへお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社 マリン事業室 トヨタマリン営業所 ☎ 0120-532-451 | www.toyota.co.jp/marine/





海での感動とマリンライフを 素敵に広げるNTP2つのマリーナ



ポナムの事なら販売・保管・メンテナンスまで全てお任せください!!

PONAM-35

PONAM-31

PONAM-28V



空から海へアクセスできる、新しいマリンライフの提案



『家族と楽しむ海』がコンセプトのアットホームなマリーナ

NTP マリーナりんくう

中部圏トップクラスのサービスセンターは、
大型艇の修理、メンテナンスからカスタムまで対応。
お気軽にご相談ください!!

〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町3-6-1
TEL.0569-35-7200

www.ntp.co.jp/marina/rinku



70ftクラスを4隻収納可能!

マリーナハウス

MARINE SERVICE マリンサービス

あなたのニーズをかなえる、テクニカルメニュー



NTPマリンサービスセンターは、様々な艀装対応、船体修理を始め、オリジナルパーツからカスタマイズまで、高い技術力と内製体制でオーナー様のご要望にお応えします。

(NTP MARINE SERVICE CENTER)



PICK UP!
特選商品艇多数あり! 詳細等NTPマリーナホームページからご覧ください!!



NTP マリーナ高浜

名古屋中心部から車で45分。
家族や気の合う仲間たちとのんびり快適なマリーナライフを。
レンタルボートクラブ、ボート免許スクールも実施!!

〒441-1325 愛知県高浜市青木町1-1
TEL.0566-54-5300

www.ntp.co.jp/marina/takahama



BBQコーナーを設置

クラブハウス/メインサロン

レストハウス

修理工場

新規艇置 契約募集中!

年間保管料の一例	※マリーナりんくうにおきましては現在<陸上保管>の募集を一時中止させて頂いております。
例 りんくう 45フィートの場合 (税込み)	
年間保管料 (海上) ※特約付	1,776,500 円/年
年間保管料 (海上: 一般)	2,090,000 円/年
例 たかはま 35フィートの場合 (税込み)	
年間保管料 (海上:B棧橋)	726,000 円/年
年間保管料 (陸上)	1フィート 11,000 円/年

※船台料金別途。 ※陸上保管は実測長にて算出。
※上記料金はあくまでも参考です。艀装によって変更あり。
◎上記以外に各入会諸経費が必要となりますので、詳しくはスタッフまでお気軽にお問い合わせ下さい。

NTP マリンクラブ

会員募集中!
オーナー感覚でマリンライフを楽しむ! レンタルボートクラブのワンランク上のステータスを追求した会員制クラブ
NTP マリンクラブ事務局
☎ 0569-35-7820 (担当/永田・大竹)

NTP ボート免許教室

受講生募集中!
1級、2級、特殊小型 (水上オートバイ専用) の3コースをご用意。
一例 (2級) ¥84,000
NTP ボートライセンススクール事務局
☎ 0566-54-5301 (担当/保科・杉浦)

NTP レンタルボートクラブ

会員募集中!
いつでも、乗りたくなったらレンタルボート! ボート免許取得者で18歳以上の方ならどなたでも入会可能な会員制クラブ
NTP レンタルボートクラブ事務局
☎ 0566-54-5300 (担当/大岩・柳原)

名古屋方面からのアクセス良好!





uno stile senza compromessi
per una vita piu' bella e creativa

Official Store location

【muta ONLINE STORE】www.muta-japan.com 【muta TOKYO JAPAN】03-6721-0348 【muta SALONE】052-265-8852 【muta MARINE TOKYO】03-5770-4498 【muta MARINE GINZA SIX】03-6263-8583
【muta MARINE YOKOHAMA】045-319-4682 【muta MARINE ZUSHI】0467-39-5589 【muta MARINE RINKU】0569-38-1266 【muta MARINE BIWAKO】0775-36-6445 【muta MARINE KYOTO】075-223-5530
【muta MARINE OSAKA】06-6484-6134 【muta MARINE HIROSHIMA】082-247-6660 【muta MARINE FUKUOKA】092-723-0018 【muta MARINE OKINAWA】098-988-7088 【muta MARINE COLLINA DEL MARE】098-989-8626
【muta MARINE GOLF PALLAZZO】03-5220-4498 【muta MARINE GOLF NIHONBASHI】03-6281-8380 【muta MARINE GOLF SHINJYUKU】03-5990-2888 【muta MARINE GOLF NAGOYA MATSUZAKAYA】052-264-2798
【muta MARINE GOLF NAGOYA TAKASHIMAYA】052-566-3874 【muta MARINE GOLF the MODA】052-777-7373 【muta MARINE GOLF OSAKA】06-6252-5001 【muta MARINE GOLF OSAKA TAKASHIMAYA】06-6632-9874
【muta MARINE GOLF FUKUOKA】092-713-0018 【muta GLOBALE KANAZAWA】076-264-8881 【muta GLOBALE KOBE】078-232-3988



www.muta-japan.com

muta JAPAN co.,ltd
Copyright© 2015-2023
muta MARINE ALL Rights Reserved.



LOCATION : NTP MARINA RINKU



トヨタホームの叡智を結集させた、都市型邸宅。

土地の選定からこだわり、その土地の性質を見極め、
既成概念にとらわれることなく、個性を追求する。

「ただ一度しか出会えないような邸宅をつくる」

この思想を基に、一邸一邸、独創的なプランニングを創造。

高水準の鉄骨構造体、85%を自社工場で組み立てるトヨタ生産方式の高品質な建物、
そして、まちづくりまでを妥協することなくこだわり尽くした、至高の邸宅をここに。

トヨタホームの最高峰・都市型新築分譲邸宅

「TOYOTA HOME EST」。



TOYOTAHOME EST



目的地は、次の自分だ。



ALPHARD



道なき道を行く人へ。VELLFIRE

START YOUR IMPOSSIBLE 

後席もシートベルト。チャイルドシートも忘れずに。

【アルファード】Photo:Executive Lounge(E-Four)。ボディカラーのプレシャスレオブロンド(4Y7)はメーカーオプション。内装色のニュートラルベージュは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。オプション装着車。【ヴェルファイア】Photo:Z Premier(2WD)。ボディカラーはブラック(202)。内装色のサンセットブラウンは設定色(ご注文時に指定が必要です。指定がない場合はブラックになります)。オプション装着車。●写真は合成です。●本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。ボディカラーおよび内装色は撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。